



川 四景

本村田恒子


(一) 野川 夕の野川に馬を洗ふ親父は裸。
川ぶちを通りすかりの親父は尻まくりも
共に彼等は馬好きなり。馬の話しがふか
長い。暖夏野川也の四景。

(二) 流場 暖夏増水の和根川の流舟では、流し
鉄の何本も引越した。流し守の
小屋も何本が引越した。流し守の
本當の川幅は何十間あるのが見あつ
かぬ。襪に平野を流る、大河らし
さが現せられる。

(三) 川越し 之れは村を流る小川も越す親子
の招き。産屋が描いた東海道大井川
の川越しも面白いが、ころり小かさ不景
も悪くない。昔村の「夏川」を越す親子
よ、手に「ついで」といふ「~~川~~」に近くて、
更に岸板がある。

(四) 投網  山中を流る川、流いが静かに流る
川、朝、早起して親父が投網を
川に入ると、水に投げた網
の音が、おぼろりとする外音がきこ
れる。足ぬにしては投網の音持はよさ
い。

